

特集

平成28年度

当初予算と主要事業

荊崎市名誉市民大村智先生のノーベル賞受賞は、私たちに大きな感動を与え、郷土への誇りと愛着を感じさせてくれました。地方創生の取り組みが本格化する今年、地方ではそれぞれの地域が有する資源、魅力を活かしたまちづくりの推進が最重要課題となっています。こうした背景の中、本市にとっては、今まさに地域の活力を大きく進展させる絶好のチャンスと捉えています。

「強くて美しいまち」「元気で豊かなまち」「夢と思いやりのあるまち」の3つの挑戦を実現させるため、市民目線で心のこもった市政運営を、「チーム荊崎」で取り組み、将来に夢と希望の持てる、活力あるまちづくりを推進していきます。

荊崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略

◆「にらさき愛」育成 カムバック支援事業

若者の荊崎離れを抑制するため、市民交流センターニコリの地下を改装し、中高校生の交流拠点「ティーンズカフェ（放課後プロデュース）」を設置し、若者が繋がりあいながら、「にらさき愛」を深める取り組みを促進します。これにより、将来的に荊崎に帰帰し、「仕事するなら荊崎市」「子育てするなら荊崎市」を目標に掲げた荊崎市まち・ひと・

◆移住・定住の促進 及び強化

しごと創生総合戦略の実現に向けた素地をつくります。
市民交流センターニコリ1階に、土日、祝日にも対応できる移住相談窓口を整備し、移住コーディネーターを配置します。きめ細やかな相談対応と地元有志や先輩移住者とのネットワークづくりや情報発信等、本市の魅力を深く理解してもらうことで、移住・定住の促進を図ります。

荊崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略

予算額（千円）

1	中小企業等支援事業費	9,254
2	赤ワインの丘プロジェクト推進事業費（合計）	171,534
3	定住対策促進事業費（合計）	17,720
4	幸せ結婚・出産応援事業費（合計）	1,134
5	子育て応援事業費（合計）	1,680
6	観光プロモーション推進事業費（合計）	7,675

また、利用者に大変好評なお試し居住事業についても、事業を継続し定住人口の増加に繋げていきます。



将来を担う子どもをのびのび育むまちづくり

予算額 (千円)

1	子ども医療費助成事業費	97,491
2	ひとり親家庭医療費助成事業費	18,820
3	児童センター管理運営費	38,332
4	地域子育て支援センター管理運営費	24,767
5	ファミリーサポート支援事業費	1,028
6	不妊症対策支援事業費	5,700
7	保育園運営費	259,080
8	病児・病後児保育所運営費	14,781
9	子ども・子育て支援事業費	98,586
10	再編保育園・藤井公民館整備事業費	148,831
11	私立幼稚園奨励補助事業費	33,053
12	学校安全体制整備事業費	14,360
13	小中学校運営事業費	98,695
14	小中学校給食運営事業費	149,360
15	甘利小学校大規模改修事業費	321,262
16	育英奨学金貸付事業費	6,480

将来を担う子どもをのびのび育むまちづくり

◆子育て支援の充実

本年度から、県と同基準で第2子の保育料を無料化するとともに、国に合わせて第1子の年齢制限をなくし、多子世帯の負担軽減により、これまで以上に子育てしやすい環境を整えます。

◆不妊症対策支援

不妊症のため子どもを授かることができず、特定不妊治療を受けたご夫婦に対して治療費の一部を助成する不妊症対策支援事業について、本年度から新たに一般不妊治療及

◆子育て及び教育環境の整備

び男性不妊治療も助成対象の範囲に加え、不妊治療を行っているご夫婦の経済的な負担の軽減と新しい命の育みを応援していきます。
※関連記事 p.8

甘利小学校の大規模改修を本格実施するとともに、再編保育園第2園は藤井公民館との複合施設として、現在の藤井保育園の敷地を拡張しての建設を予定しており、すずらん保育園と同様に、県産木材を使用した環境にやさしく、

誰もが安心して暮らせるまちづくり

予算額 (千円)

1	健康教育事業費(健康ポイント事業含む)	1,961
2	予防接種事業費	66,630
3	がん検診事業費	52,549
4	健康ふれあいセンター管理運営費	47,227
5	みんなで支える地域福祉推進事業費	11,525
6	老人福祉センター管理運営費	13,636
7	臨時福祉給付金給付事業費	48,315
8	年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業費	45,000
9	重度心身障害者医療費助成事業費	114,966
10	障害者自立支援給付費等負担事業費	689,361
11	社会福祉関係計画策定事業費	2,879
12	消防団運営事業費	53,053
13	安全・安心なまちづくり事業費	5,649
14	災害対策事業費	9,165
15	防災行政無線デジタル化推進事業費	20,142
16	生活保護施行事業費	290,778
*	荏崎市立病院運営事業費	2,862,329
*	国民健康保険運営事業費	3,642,703
*	後期高齢者医療保険運営事業費	276,839
*	介護保険運営事業費	2,461,093

※印は、特別会計・企業会計

温かみのある保育施設として、未来を託す子どもたちの豊かな成長を育む保育を目指します。

◆児童・生徒の健康管理体制の充実

未来ある子どもたちが安心して健やかな生活を送るうえで、学校などでの感染症の予防、蔓延防止には、より早い情報の把握と共有が求められるため、県下に先駆けて、欠席情報収集システムを市内すべての幼稚園・保育園・小中学校に導入します。

感染症流行の兆しを捉え、リアルタイムで情報共有し、学校や医療機関などとも連携して予防指導等の早期対応に繋がります。

誰もが安心して暮らせるまちづくり

◆健康な暮らしを守る 保健・医療の充実

「健康寿命の延伸を目指して、心身ともに健やかに、一人ひとりの健康づくり」を基本理念に今年度からの5ヶ年計画として、第2次荏崎市健康増進計画を策定しました。この計画では、ウォーキングイベントや健康ポイント事業、百歳体操等を、地域・関係機関と連携して取り組む事業に位置づけ、生活習慣病の予防や市民の健康づくりへの動機付けとなるよう積極的に取り組む、健康寿命の延伸を図ります。

◆災害に備える 相互協定の締結

東京都国立市と、大規模災害時における物資の供給や職員員の相互派遣などの応急対策に必要な措置を定めた相互協定を締結しました。

今後は、同じ甲州街道の沿線市として、災害時だけでなく、防災訓練などでも交流していきます。※関連記事 p.14

◆防災行政無線のデジタル化の推進

既設のアナログ方式の防災行政無線について、機器の老朽化や電波法の規格変更に伴いデジタル方式のシステム構築が必要のため、基本設計等の準備を進めます。

◆地域ハザードマップ作成モデル事業

子ども目線での危険箇所の確認や、地域コミュニティの主体的な災害への備えを促進するため、危険箇所等のマップづくりを実施し、子ども自身の防犯意識の啓発や、地域での災害に備えた取り組みを支援します。

心地よい定住環境のあるまちづくり

◆生活環境の充実と空き家対策

年々増加傾向にある空き家等への対策として、市民の安全で安心な生活の確保と生活環境の保全が図られるよう、市空き家等対策推進計画を策定します。

◆市営火葬場の改修

供用開始から42年が経過し、これまでも改修を重ねてきましたが、本年度は定期的な火葬炉本体の修繕に加え、告別ホールや空調設備の刷新など施設をリニューアルして、利便性の向上を図ります。

◆道路等の整備

国道141号線絵見堂交差点の改良工事を実施すると同時に、相袋交差点の用地買収等も進めます。また、葦崎昇仙峡線は歩道の改良工事に着手する予定です。市道龍岡18号線に架かる堀切橋は、橋脚の付け替え工事を進め、通行の安全性の向上を図ります。新たな事業として、市道旭58号線は、大雨時に倉の沢からの氾濫を防ぐため水路等の整備を行い、市道神山2号線については、生徒の交通安全を確保するため、歩道等の整備に着手します。

心地よい定住環境のあるまちづくり

予算額 (千円)

1	浄化槽設置促進事業費	18,864
2	廃棄物処理対策事業費	71,448
3	ごみ減量アクションプラン推進事業費	1,986
4	資源リサイクル推進事業費	18,149
5	火葬場管理運営費(改修費含む)	28,646
6	市営住宅改修事業費	38,006
7	定住促進住宅改修事業費	41,768
8	持家住宅定住促進助成事業費	6,800
9	木造住宅耐震改修事業費	4,040
10	市民バス運行事業費	45,451
11	高齢者タクシー利用助成事業費	3,689
12	市単独道路整備事業費	108,434
13	市道(旭)58号線道路整備事業費	4,139
14	市道(神山)2号線道路整備事業費	8,316
15	堀切橋拡幅整備事業費	198,008
16	道路施設長寿命化推進事業費	49,019
*	水道事業費	1,440,983
*	公共下水道事業費	1,324,353

※印は、特別会計・企業会計

魅力あふれるまちづくり

予算額 (千円)

1	県営畑地帯総合土地改良事業費	100,000
2	小土地改良事業費	63,968
3	農業基盤整備促進事業費	40,010
4	県営農業競争力強化整備事業費	11,600
5	新規就農者支援事業費	29,460
6	まちなか活性化推進事業費	16,209
7	企業立地支援事業費	15,969
8	観光施設管理事業費	21,711
9	武田の里まつり補助事業費	16,864
10	再編保育園・藤井公民館整備事業費	21,711
11	市立図書館管理運営費	67,144
12	生涯スポーツ推進事業費	1,380
13	文化ホール管理運営費	92,959
14	大村美術館開館10周年記念準備事業費	93,907
15	大村智博士ノーベル賞受賞祝賀記念事業費	13,366
16	公共事業埋蔵文化財確認等調査事業費	70,264

魅力あふれるまちづくり

◆魅力ある観光施策の充実

大村智先生のノーベル賞受賞を、市空き家の魅力を全国に発信する絶好のチャンスと捉え、幸福の小径への大村先生の銅像の建立や周辺整備、南アルプスユネスコエコパークを周知するための看板を市内数箇所に設置するほか、年間を通じて本市に訪れる登山者の利便性の向上とPRを念頭に、二コリ内・情報発信センターに山岳観光コーナーを新たに開設するなど、各種イベント等とも連携しながら、魅力ある観光施策の充実に努めます。

◆中小企業及び小規模事業者支援

飲食店ガイドブック発行事業や小規模事業者店舗改修費補助事業、就職ガイダンス開催事業などの新たな事業のほか、プレミアムふれあい商品券の発行も継続実施して、中小企業・小規模事業者を積極的に支援します。

◆農業生産基盤の整備

穂坂日之城地区や大草町屋地区で、引き続き区画整理事業を実施するとともに、龍岡町では準備に着手します。円野、清哲、神山地区は、県営

◆葦崎の魅力を再発見 新たな健康ウォーク

武田の里ウォークを市内を巡るコースにリニューアル。幸福の小径やわに塚の桜、新府桃源郷や富士山などの眺望を楽しみながら、地域の魅力を再発見する事業として実施していきます。

◆夏期巡回ラジオ体操で 葦崎を全国にPR

NHK夏期巡回ラジオ体操を7月末に開催し、全国に向けて、市民のパワーを発信するとともに、これを契機にラジオ体操を習慣化し、健康づくりを推進します。

◆文化芸術の振興

平成29年10月に葦崎大村美術館が開館10周年を迎える記念事業として、美術館収蔵庫を増築し、収蔵品の記念図録の作成に着手します。

人が集う交流のあるまちづくり

◆市民交流センターの地下改修

機能強化や更なる活用のため、地下スペースに、音楽スタジオやアートギャラリーの設置、中学・高校生の活動拠点を整備することなど計画し、秋のリニューアルオープンを目指します。

◆国際交流の推進

本年はフエアフィールド市との姉妹都市締結45周年の節目にあたり、学生の相互派遣事

健全な行政活動によるまちづくり

◆効果的な行財政運営

介護保険業務とサービス提供の多様化に対応するため、4月から介護保険課を保健福祉センター内へ移転し、総合的な介護行政を推進します。

◆ふるさと納税の充実

寄附手続の簡素化や返礼品の充実などにより、寄附額が飛躍的に増加しました。管理運用システムの導入やノーベル賞受賞記念ワインのPR

健全な行政活動によるまちづくり

	予算額 (千円)
1 職員研修費	5,802
2 庁舎管理費	103,179
3 企画一般事務費	27,876
4 賦課徴収事務費	35,082
5 情報システム管理費	189,995

などを行い、さらに寄附額の増加を目指し貴重な財源として活用します。

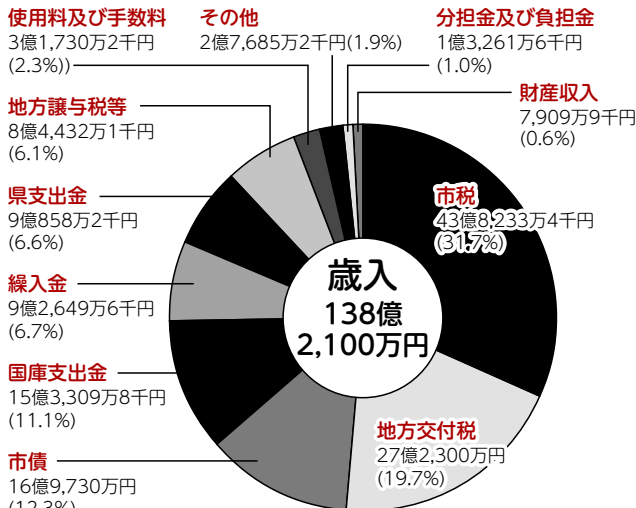
人が集う交流のあるまちづくり

	予算額 (千円)
1 市民交流センター管理運営費	235,343
2 文書管理事務費	22,698
3 広聴広報事務費	19,830
4 男女共同参画社会づくり事業費	1,284
5 地区活動推進事業費	19,716
6 国際交流事業費	9,778

業に加えて、親善使節団も相互派遣し、長年両市が培ってきた友好の絆をさらに深めます。

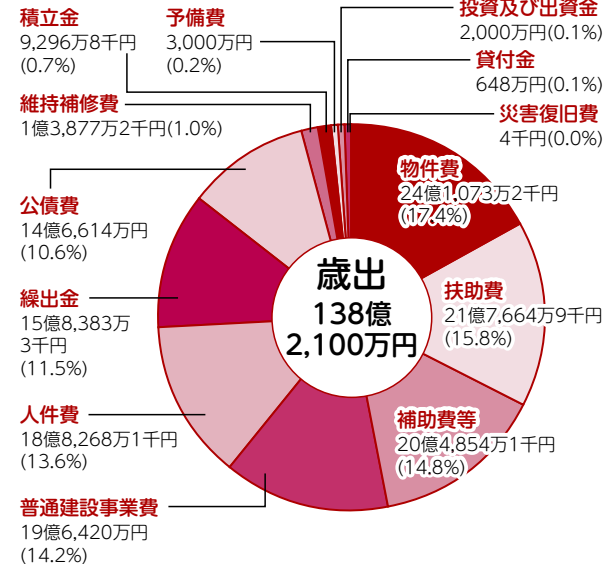
平成 28 年度当初予算 歳入・歳出の内訳 (一般会計)

歳入



※地方譲与税等には、地方譲与税のほか、利子割交付金等の各種交付金の合計を記載しています。

歳出 (性質別)



歳出 (目的別)

